

平成31年第1回滝川市議会臨時会（第1日目）

平成31年 2月 1日（金）

午前 9時55分 開会

午前10時13分 閉会

○議事日程

日程第 1 会議録署名議員指名

日程第 2 会期決定

日程第 3 報告第 1号 専決処分について（損害賠償額の決定）

日程第 4 議案第 1号 平成30年度滝川市一般会計補正予算（第7号）

○出席議員（18名）

1番	三上裕久君	2番	堀重雄君
3番	館内孝夫君	4番	清水雅人君
5番	山本正信君	6番	安樂良幸君
7番	本間保昭君	8番	田村勇君
9番	井上正雄君	10番	水口典一君
11番	小野保之君	12番	渡邊龍之君
13番	木下八重子君	14番	山口清悦君
15番	柴田文男君	16番	荒木文一君
17番	関藤龍也君	18番	東元勝己君

○欠席議員（0名）

○説明員

市長	前田康吉君	副市長	千田史朗君
教育長	山崎猛君	監査委員	宮崎英彰君
会計管理者	田湯宏昌君	総務部長	中島純一君
市民生活部長	館敏弘君	市民生活部次長	浦川学央君
保健福祉部長	国嶋隆雄君	産業振興部長	長瀬文敬君
建設部長	山崎智弘君	市立病院事務部長	椿真人君
教育部長	田中嘉樹君	教育部指導参事	粟井康裕君
監査事務局長	杉原慶紀君	総務課長	深村栄司君
企画課長	稲井健二君	財政課長	堀之内孝則君

○本会議事務従事者

事務局 長 竹谷 和徳 君
書 記 村井 理 君

次 書
長 菊田 健二 君
記 池田 茂喜 君

◎開会宣告

○議 長 ただいまより、本日をもって招集されました平成31年第1回滝川市議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は、18名であります。

◎開議宣告

○議 長 これより本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員指名

○議 長 日程第1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、議長において安樂議員、本間議員を指名いたします。

◎日程第2 会期決定

○議 長 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日の1日間といたしたいと思っております。これに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長 異議なしと認めます。

よって、会期は1日間と決定いたしました。

◎日程第3 報告第1号 専決処分について(損害賠償額の決定)

○議 長 日程第3、報告第1号 専決処分について(損害賠償額の決定)を議題といたします。説明を求めます。産業振興部長。

○産業振興部長 報告第1号 専決処分について。

地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告いたします。

専決事項は、車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定であります。事故発生日時は、平成30年12月6日午後4時45分ごろ。滝川市大町1丁目4番地先。相手方につきましては、記載のとおりでございます。損害賠償額は12万7,404円で、市が加入する全国市有物件災害共済と自動車損害共済保険が適用され、全額補填となる予定でございます。事故原因につきましては、国際交流用務により公用車両にて市道大町320号線から左折して国道38号に進入した際、同国道を東に向かって走行中の相手方車両の前面部に公用車両の右側面部が衝突し、損害を与えたものでございます。専決処分年月日につきましては、平成30年12月27日でございます。

以上、報告とさせていただきます。

なお、今回の車両損傷事故につきましては、相手方にご迷惑をかけ、心からおわび申し上げます

とともに、市民の皆様には深くおわび申し上げます。今後におきましては、交通安全について十分注意喚起を促すとともに、安全運転の徹底に努めてまいります。まことに申しわけございませんでした。

○議 長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございますか。

(なしの声あり)

○議 長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

報告第1号は、報告済みといたします。

◎日程第4 議案第1号 平成30年度滝川市一般会計補正予算(第7号)

○議 長 日程第4、議案第1号 平成30年度滝川市一般会計補正予算(第7号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。副市長。

○副市長 ただいま上程されました議案第1号 平成30年度滝川市一般会計補正予算(第7号)についてご説明申し上げます。

今回の補正は、ふるさと納税寄附金がふえたことにより返礼品等の必要経費とふるさと基金に積み立てるための補正のほか、北海道の地域づくり総合交付金を受けて行う滝川小麦採種組合に対する農業振興施設等整備事業補助金の交付のための補正内容となっております。

1ページをごらんください。第1項で、歳入歳出の総額にそれぞれ2億8,290万円を追加し、予算の総額を207億132万9,000円としたいとするものでございます。

第2項で、補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表によるところでございます。

2ページから3ページまでは、第1表、歳入歳出予算補正でございますので、お目通しをいただきたいと思っております。

続きまして、補正の内容につきましては事項別明細書により歳出からご説明申し上げますので、8ページ、9ページをお開き願います。2款1項2目一般管理費、補正額7,650万円の増額につきましては、ふるさと納税の推進に要する経費の補正でございます。ふるさと納税につきましては、昨年12月に開かれました第4回定例会において上程いたしました一般会計補正予算(第5号)におきまして年間の寄附金の見込み額を2億円から5億円に変更し、議決を得たところでございます。年末の駆け込みによる寄附金が想定以上にふえ、12月末時点で7億3,000万円を超える寄附金が寄せられたことから、ふるさと納税の年間寄附見込み額を7億8,000万円に変更し、それに伴い返礼品等の必要経費を補正したいとするものでございます。

2款1項4目財産管理費、補正額2億350万円の増額につきましては、財産の取得、管理及び処分等に要する経費の補正でございます。ふるさと納税の推進に要する経費と同様に寄附金の年間見込み額を変更することに伴い、寄附金額から返礼品等の必要経費を除いた2億350万円をふるさと基金に積み立てるため補正したいとするものでございます。

6 款 1 項 2 目 農業振興費、補正額 2 9 0 万円の増額につきましては、農業の振興に要する経費の補正でございます。秋小麦に近年発生が拡大しているなまぐさ黒穂病の予防対策として小麦種子全量の消毒を行い、種子伝染リスクを回避することを目的に滝川小麦採種組合が実施する小麦の種子消毒設備の整備に対し北海道の地域づくり総合交付金の要望をしていたところ、平成 3 0 年 1 1 月 2 7 日付で交付金の内示を受けたことから補正したいとするもので、事業費の 2 分の 1 以内の範囲で地域づくり総合交付金が措置されることから、市を経由した間接補助事業として補助金を交付したいとするものでございます。

以上、歳出合計で 2 億 8, 2 9 0 万円の増額となったところでございます。

続きまして、歳入についてご説明申し上げますので、6 ページ、7 ページをお開き願います。1 6 款 4 項 1 目 道交付金から 1 8 款 1 項 1 目 一般寄附金までは、いずれも歳出関連でございます。

以上、歳入合計で 2 億 8, 2 9 0 万円の増額となったところでございます。

以上を申し上げまして議案第 1 号の説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしく願います。

○議 長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございますか。柴田議員。

○柴田議員 議長からお許しをいただきましたので、1 点質疑させていただきたいと思っております。

財政課を初めとする職員の皆さんのご努力によってふるさと納税、格段の伸びを見せている。まず、このことについて心から敬意を表したいと思っております。このふるさと納税の寄附金額、順調に大きく伸びておりますが、この地方の努力によって歳入確保対策が進んでいる、この現状は私も認めております。ただ、一方で地方交付税や臨時財政対策債の今後の減少傾向にあると思われておりますが、これは予算編成にも相当大きく影響すると私は思っております。この点について、市側の考え方を求めておきたいと思っております。

○議 長 柴田議員の質疑に対する答弁を求めます。総務部長。

○総務部長 ことしのふるさと納税寄附額は、先ほど副市長より提案理由の中でも申し上げましたとおり、昨年 1 2 月末時点で約 7 億 4, 0 0 0 万円に達したことから、本年度の寄附総額を第 4 回定例会にて議決をいただきました 5 億円から今回 7 億 8, 0 0 0 万円に上方修正したところでございますが、過去最高となる寄附額となったことは、議員各位のご協力はもとより、これまでの地道な努力が実を結んできたものと考えているところでございます。

一方、国から示されました平成 3 1 年度の地方財政対策では、地方交付税は 1. 1 パーセントの増加としておりますが、地方税収が対前年 1. 9 パーセントの伸びを見ていることや国の交付税特別会計の財源不足が生じた場合に国と地方が折半して財源不足を補う折半ルール分が財源不足を生じていないことから、地方が発行する臨時財政対策債も大きく減少することなどが示されました。

この地方財政対策を真正面から捉えますと、総じて地方交付税は増加に転じると見受けられますが、臨時財政対策債の減少額に連動して真水として交付されるはずの地方交付税は、当市の試算結果からは単位費用の伸びなどが無い限り、平成 3 0 年度の交付実績とほぼ横ばいであると試算しているところでございます。この試算結果により、当市の臨時財政対策債を含む地方交付税予算額は

対前年予算額と比較して大きくマイナスとなることが想定されており、国のマクロで見た地方税収の伸びと試算している地方税収の伸びの乖離は大きく、地方交付税予算額の減少分を地方税収でカバーできていないのが現状であります。

現在、新年度の予算編成作業に取り組んでおりますが、地方交付税の大きな減額に対し、平成30年度に大幅に増額となったふるさと納税の寄附による基金積み立て額の充当によって何とか歳入調整を行い予算編成を進めている状況で、国が示すマクロでの地方財政対策とは大きな乖離があり、依然として巨額の財源不足は解消されていないことから、市長会などを通じて引き続き国へ訴えていかなければならないというふうに考えているところでもございます。

また、地方消費税の増税対策や幼児教育無償化に係る地方負担額など、これからも大きな財政出動が予想されておりますので、引き続きふるさと納税寄附額の増額につながるよう全庁一丸となって取り組んでいくとともに、特別交付税要望活動の充実や各種補助金の獲得のための対応など、歳入確保対策にもしっかりと取り組んでまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長 長 柴田議員。

○柴田議員 ふるさと納税の寄附額の増大、今のお話を聞くと、もろ手を挙げて喜ぶこともできないのかなという非常に厳しい状況は続いているのだなという認識を強めました。

もう一点、総務部長にお聞きしたいのですが、このふるさと納税、年末の駆け込みがありますよね。そうすると、年始にかけて非常に業務量が増大するのではないかと思います。これは、財政課のほうで業務量の増大と、さらには新年度予算の編成と、こういう大きな作業が重複して財政課に降りかかっている状況にあるのではないかと。その現状について、総務部長はどういう認識を持っているのか、最後に確認して私の質疑を終わりたいと思います。

○議長 長 総務部長。

○総務部長 議員おっしゃられましたとおり、年末の駆け込みが非常に多かったというのが事実でございます。総務文教常任委員会の中でも12月29日から31日までの3日間で1億3,000万円という非常に高額な納税があったということについてはご報告をさせていただいておりますが、やはり平成30年度、非常に巨額に多かったという部分もございませうけれども、今回30年度のふるさと納税につきましては、こういった12月の補正もそうですけれども、非常に増額が見込まれるという中で、財政課のみならず、やはり総務部全体の中での協力体制という部分で体制をしいたところでございます。ただ、とはいいつつも、やはり先ほど申し上げましたとおり、年末の3日間でということになりますと、当然年始にかかってくると。当然この時期は財政課としては新年度予算という大きな作業も抱えているという部分もございませうので、総務部も含めて全庁的にどういう体制でやっていくのかという部分については今後検討して、財政課のみに負担がかからないような体制は考えていきたいなというふうに考えております。

以上です。

○議長 長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

○議 長 これにて質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論ございますか。
(なしの声あり)

○議 長 討論なしと認めます。
これにて討論を終結いたします。
これより議案第1号を採決いたします。
本案を可決することに異議ありませんか。
(異議なしの声あり)

○議 長 異議なしと認めます。
よって、議案第1号は可決されました。

◎閉会宣告

○議 長 本臨時会に提案されました議案の審議は全て終了いたしました。
これにて平成31年第1回滝川市議会臨時会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉会 午前10時13分

上記会議のてん末は誤りがないので、ここに署名する。

平成 年 月 日

滝川市議会議長

滝川市議会議員

滝川市議会議員